

ニュースリリース

報道関係各位

2026 年 10 月 8 日

インタセクト・コミュニケーションズ株式会社

ユーシーカード株式会社

インタセクトはユーシーカードと連携し、ウォークスルー型無人店舗
・スマート冷蔵庫のクレジットカードタッチによる入店と自動決済に対応開始
～クレジットカードをタッチして商品を取るだけ。
アプリ・会員登録・レジ操作不要で、より手軽な無人購買を実現～



**クレジットカードタッチ
による入店と
自動決済に対応**



訪日誘客・企業 DX 支援を行うインタセクト・コミュニケーションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：譚 玉峰、以下「インタセクト」）は、ユーシーカード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：福岡 和大、以下「UC カード」）との連携により、自社が展開するウォークスルー型無人店舗において、新たにクレジットカードのタッチによる入店と自動決済に対応する環境を構築し、2026 年 11 月

より導入いたします。あわせて、同じくクレジットカードのタッチによる開錠と自動決済で利用できるスマート冷蔵庫（AI 無人販売冷蔵庫）の提供を開始いたします。アプリのダウンロードや会員登録を行うことなく、利用開始時に対応クレジットカード（以下、対応カード）をタッチするだけで入店でき、商品を手に取った後は、レジ操作や対応カードの再タッチをすることなく、自動で決済が完了します。国内外の旅行者や初めて利用するお客さま、お急ぎの方にも便利にご利用いただけます。

導入の背景

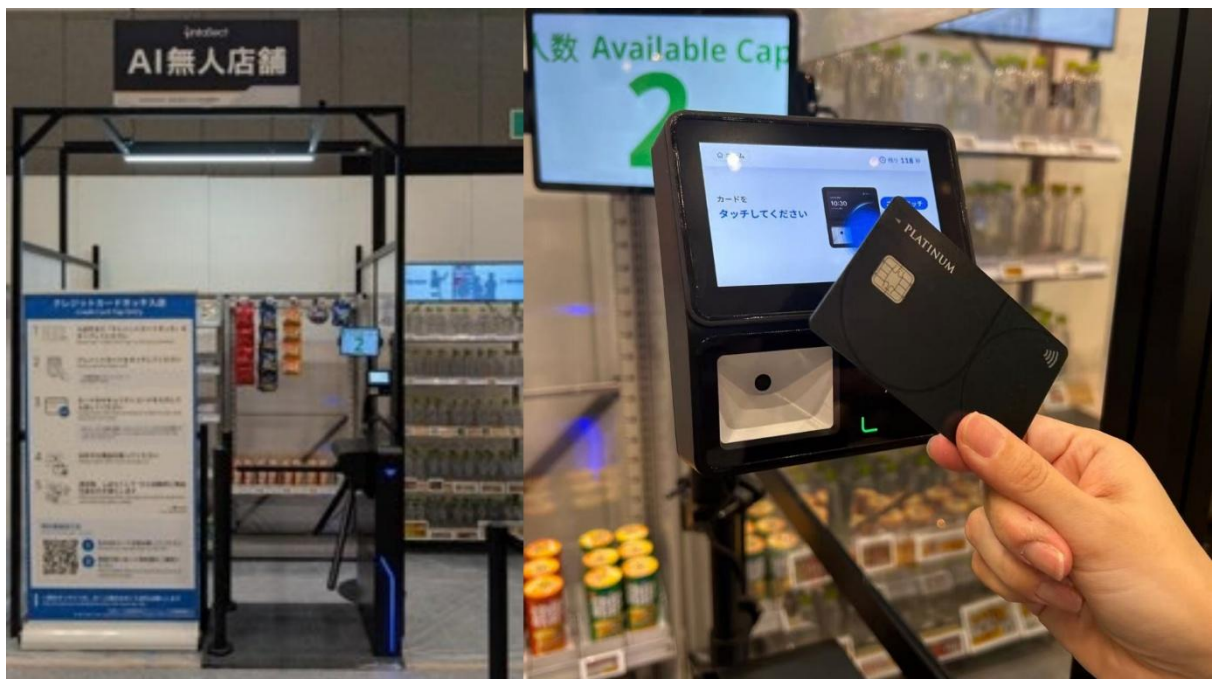
インタセクトはこれまで、AI カメラによる商品認識技術を活用したウォークスルー型無人店舗を、大学生協やホテルをはじめとする施設で展開してまいりました。

従来はスマートフォンの Web アプリによる事前登録・決済手段との紐付けが必要であり、日常にご利用いただくお客さまには便利である一方、初めて利用する方や、旅行先・出張先などでのスポット利用の方にとっては、登録のひと手間がハードルとなることもありました。

特に空港・駅などの交通結節点や観光地では、国内外を問わず「登録手続きの手間なく、手早く買い物を済ませたい」というニーズがあると考えられます。

さらに、2025 年の訪日外客数は約 4,268 万人※1、訪日外国人旅行消費額は 9 兆 4,549 億円（うち買物代 約 2.6 兆円）※2 といずれも過去最高を記録しており、日本国内のアプリや会員サービスを利用していない訪日外国人のお客さまにも、より利用しやすい購買環境の整備が求められています。こうした課題に応えるため、このたび、UC カードと連携し普段お使いの対応カードで利用できるタッチ入店と自動決済を実現しました。あわせて、店舗スペースの確保が難しい場所にも省スペースで設置できるスマート冷蔵庫を新たにラインナップに追加し、タッチ開錠と自動決済で同様にご利用いただけるようにしました。

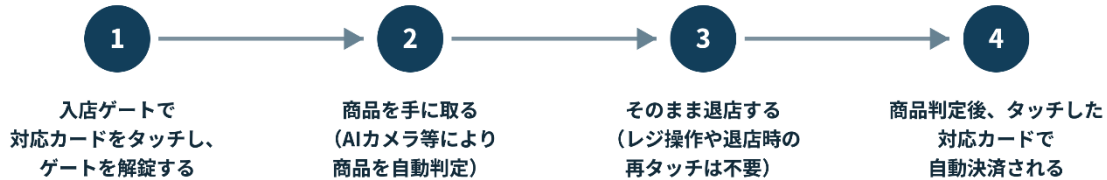
※1 出典：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」※2 出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」2025 年暦年（確報）



新しい利用方法（タッチ入店・開錠と自動決済の場合）

対応カードをタッチして入店・開錠し、その後はレジ操作やカードの再タッチを必要とせず、自動で決済が完了します。

【ウォークスルー型無人店舗の場合】



【スマート冷蔵庫の場合】



※初回ご利用時のみ、本人確認のためセキュリティコードの入力が必要です。
2回目以降は、初回利用時と同じカードをタッチするだけでご利用いただけます。

本サービスの特長

- ・ 利用開始時に対応カードをタッチ。アプリのダウンロードや会員登録が不要で、お急ぎの方もすぐに利用可能
- ・ 商品を取った後のレジ操作や対応カードの再タッチが不要
- ・ AIによる商品判定後、自動で決済が完了
- ・ 多言語対応により、訪日外国人のお客さまも普段お使いの対応カードで利用可能
- ・ 専用サイトにカード番号と購入日を入力することで、購入履歴の確認や領収書のダウンロードが可能

本サービスにより期待される効果

1. スポット利用の拡大

事前登録が不要となることで、旅行先や出張先の空港や駅、商業施設、宿泊施設などでのスポット利用や、お急ぎの方の「サッと買ってすぐ出る」といったニーズにも対応し、新たな利用機会の創出が期待できます。

2. インバウンド需要への対応

海外発行の対応カードも利用可能なため、空港や駅、観光地など、短時間での買い物ニーズが高い立地での展開に適しています。

3. 省人化・24 時間運営との両立

無人店舗・スマート冷蔵庫の省人化メリットはそのままに、決済手段の拡充により、これまで以上に幅広いお客さまにご利用いただけるようになります。

今後の展開

インタセクトと UC カードは今後、空港や交通結節点、観光地、商業施設、宿泊施設など、スポット利用や訪日外国人の利用が見込まれる立地を運営するパートナー企業や施設運営者、地場に根付いて活動している金融機関や地域 DX 推進企業・団体の皆さまとの連携を通じて、本サービスの導入を広げてまいります。さらに、本サービスの機能強化を継続し、施設運営の省人化・キャッシュレス化および販売機会の拡大を支援してまいります。

■ インタセクト・コミュニケーションズ株式会社概要

商号 : インタセクト・コミュニケーションズ株式会社

代表者 : 代表取締役社長 譚玉峰

所在地 : 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3 丁目 1 番地 B・Mビル 2F

設立 : 2000 年 11 月

事業内容 : 中国本土・台湾を主軸とした観光 DX による海外プロモーション・インバウンド

(訪日誘客)支援、中国向け越境 EC、アフィリエイト運用代行、アフィリエイト

サイトパトロール、システム開発など

資本金 : 9,856 万円

URL : <https://www.intasect.com/>

2000 年に設立した日本国内及び中国大陸・台湾地域を主体とした海外プロモーション・システム開発企業で、以下のとおり、幅広い事業を展開しています。

国内海外 QR 決済ソリューション「[IntaPay](#)」、新免税制度〈空港還付型〉に完全対応した「[InTaxFree 免税リフトシステム](#)」。海外向けとしては、生成 AI を用いた観光 DX による訪日誘客施策・旅ナカ回遊促進、[百度広告](#)や SNS、在日・海外インフルエンサーなどの海外デジタル広告、WeChat ミニプログラム開発、越境 EC 等の海外販路拡大。また、[アフィリエイト広告運用](#)及び[アフィリエイトサイトパトロール](#)、[SI サービス](#)、[ERP 事業](#)、[BPM](#)、電子

契約、ワークスルー型[無人店舗](#)、物流・製造業向けスマート無人倉庫、イベント管理・電子チケットシステム「インタイベント」、モバイルオーダー「eateat」、添削・共有・指示ツールの「[Passton](#)」等、国内外において DX 技術を用いた幅広い事業を展開中です。

2026 年現在、国内・中国本土あわせ 10 拠点以上、[グループ](#)全体の従業員数は約 900 名となっています。

■ユーシーカード株式会社概要

商号 : ユーシーカード株式会社

代表者 : 代表取締役社長 福岡 和大

所在地 : 〒135-8601 東京都港区台場 2 丁目 3-2 台場フロンティアビル

設立 : 1969 年 6 月

事業内容 : クレジットカードの取扱いに関する業務、UC グループの運営に関する業務、
集金代行業務並びに事務計算代行業務、その他上述附帯業務

資本金 : 5 億円

URL : <https://www2.uccard.co.jp/>

みずほフィナンシャルグループの一員であるユーシーカードは、1969 年の創業以来、UC ブランド及び、会員・加盟店さま、ならびに UC ブランドカード発行クレジットカード会社であるブラザーズカンパニーの発展に努めてまいりました。

現在は、個人向けに UC ブランド最上位のクレジットカード「UC プラチナカード」を発行するとともに、法人向け企業間取引のキャッシュレス化の推進など事業領域を拡大しております。

これからも、「お客さまから愛され信頼される“みずほグループ”の決済ソリューション領域を担う中核会社」として、皆さまの人生に寄り添い続ける企業であり続けます。